

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

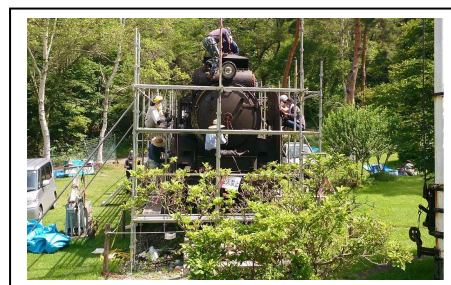
事業名	おみごと！デゴイチ修復事業
事業主体 (連絡先)	麻績村 麻績村 観光課 0263-67-2133 (聖高原観光案内センター)
事業区分	その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,069,780円 (うち支援金: 801,000円)

事業内容

昭和47年4月に休車となり、その後聖湖畔公園に展示されていたD51蒸気機関車(通称デゴイチ)は長年の風により塗装が剥げ、鉄が腐食して穴が開くなど、当時の面影が無くなり、子供たちがデゴイチの雄姿を感じられなくなっていた。そのため村民有志を中心としたボランティアを募り、車体の修復及び再塗装を行った。

湖畔公園内に地元保育園の園児による花苗の植栽を春・夏の2回行い各回1,200potを植えた。

湖畔公園への沿道に、村民を中心としたボランティアにより桜の苗木を植える「さくらの植樹会」を行い100本の苗木を植えた。



【塗装作業を行う参加者】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

デゴイチの修復については、延べ140人のボランティアにより修復作業が行われた。ボランティアは小学生から当時を知る年配の方々までと幅広い年齢層が集まり、作業の合間には当時の話などを聞くことができた。また、作業を通して参加者どうしの交流が生まれるなど世代間交流ができた。

「さくらの植樹会」については、村民を中心とした80名の多くのボランティアに参加をいただき行うことができた。その中の小学生参加者は新聞取材に対して「大人になって遊びに来たとき、大きく育っていてほしい」、「自分の植えた木が春に満開になるのを見たい」と話している。この植樹を通して少しではありますが、郷土「麻績村」そして「聖高原」に愛着を持ってくれたものと考えます。

この「おみごと！デゴイチ修復事業」を行う中で、新聞各紙・ラジオなどで事業を取り上げていただき「麻績村」「聖高原」が多くの人の目や耳に触れたことにより、地元住民には地域資源を再認識してもらうことがで、他市町村の皆様には「聖高原」を身近な観光地として認識いただけたものと考えます。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

当時、湖畔公園にデゴイチを運び込んだ皆さんと、この事業でボランティアとして参加をいただいた皆さんの意志を次世代へ引き継ぐために、適切な管理保管をして数年後には咲く桜の花も含め、多くの方々が楽しめる場所としたい。

【目標・ねらい】

郷土愛の醸成と世代間交流

※自己評価【A】

【理由】

デゴイチの修復、花苗の植栽桜の苗木の植樹のすべての事業が予定通り終了することができた。そして予定を上回る幅広い年齢層の多くのボランティアの参加により事業が実施できたため。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

- ※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある